

# かけはし

2022  
NO. 113

## Contents

**特集** 令和4年度兵庫県老人福祉事業協会  
BCPマニュアル作成 モデル施設報告会 2~3

研究会報告/介護の日イベント・県民フォーラム 4~5

会員紹介 6~7

ブロック通信/部会・委員会通信/  
事務局からのお知らせ 8



発行所/（一社）兵庫県老人福祉事業協会 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 TEL.078(291)6822 FAX.078(291)6811  
発行責任者/伊富貴 幸廣 ●発行日/令和4年12月9日 第113号

### 事務局からのお知らせ

第3回 福祉の現場 若手リーダー賞受賞おめでとうございます!!

稲葉 夏輝さん(介護老人福祉施設やまゆりの里)おめでとうございます!!

令和4年11月15日(火)「介護の日イベント」で、神戸新聞厚生事業団「第3回 福祉の現場 若手リーダー賞」の表彰式が行われ、当会会員事業所、介護老人福祉施設やまゆりの里 主任生活相談員 稲葉夏輝氏が受賞されました。神戸新聞厚生事業団専務理事 武田良彦様より、表彰状・トロフィー・副賞20万円が贈られました。



## ブロック通信

### 阪神ブロック

- 10月26日 第2回 意見交換会・施設長会・研修会(オンライン開催) テーマ別意見交換会「災害BCPについて、処遇改善加算について、利用者確保について」 テーマ「外国人人材確保の最新線について」  
講師:株式会社Funtoco 最高執行責任者 山本 将人氏
- 10月4日 養護老人ホーム部会(参集型) テーマ「情報交換会」
- 12月14日 デイ部会研修会(オンライン開催) テーマ別意見交換会「コロナ禍でも安全性と効率性を考慮して営業する方法、業務効率化の方法、コロナ禍におけるレクリエーションの方法、困難事例の対応について」

### 東播磨ブロック

- 10月18日 第3回職員研修会「ノーフティンクケア～実践のための体制整備・具体的なノーフティンクケアと職員教育～」小野市うるおい交流館エグラにて  
講師:一般社団法人ナチュラルハートフルネットワーク 理学療法士 下元 佳子氏
- 11月18日 第4回職員研修会「VR認知症プロジェクト～認知症を“体験”する～他人事で見えたことも“1人称”で体験すると全く違って見える」小野市うるおい交流館エグラにて  
講師:株式会社シルバードVR事業部
- 12月1日 第5回職員研修会「ケアプラン研修会」(Zoomでのオンライン開催)  
講師:ケアプランリーダー派遣委員会委員/東播磨ブロックケアプラン研修委員

### 西播磨ブロック

- 10月11日 認知症介護基礎研修 会場:姫路・西はりま地場産業センター(じばさんビル) 講師:松原 宏樹氏

### 但馬ブロック

- 11月25日 「高齢者の栄養食事管理 ～美味しく安全に食べるために～」(オンライン開催) 講師:大和学園京都栄養医療専門学校 石伏 稔氏

### 丹波ブロック

- デイ部会研修会(WEB) 令和5年2月20日「マインドフルネス(その意味、効果、やり方)」(仮題)  
講師:関西学院大学教授 池埜 聡氏

### 姫路ブロック

- 11月24日 令和4年度施設長研修「ハラスメントのない職場づくり、労務関係法改正のポイント」開催  
講師:社会労務士法人 庄司茂事務所代表 庄司 茂氏
- 令和5年1月 姫路市監査指導課による令和3年度介護報酬改定のポイント研修、3月ケアマネ、看護師研修予定

### 淡路ブロック

- 10月7日 給食関係職員研修会(リモート研修)「介護施設における食品物性と疾患特性を生かした摂食・嚥下支援」  
講師:はなすたべるくらす舎 代表 高田 耕平氏
- 10月14日 ケアプラン研修会
- 11月10日 リスクマネジメント研修「高齢者施設におけるリスクマネジメント -ハラスメントや過度なクレーム・苦情、BCPを含めた対応-」  
講師:びわこ学院大学教授 鳥野財団理事長 福祉リスクマネジメント研究所所長 鳥野 猛氏

## 部会・委員会通信

### ◎ 介護保険推進委員会

介護報酬改定の影響調査・物価高騰に伴う緊急影響度調査等を実施・分析したものをホームページに掲載しております。又本調査に基づき厚生労働省と意見交換を行う予定です。(詳細は、後日発行のかけはし号外に掲載予定)

### ◎ サービス評価委員会

令和4年度サービス評価事業を実施しています。(本年度評価3施設)

### ◎ 介護人材確保推進委員会

将来の介護人材の確保を目指し、介護の仕事の魅力を伝える「出前授業」はコロナ禍の中、中学校、高等学校からの依頼に応じて実施しております。就職出前プレゼンテーションも養成校4校で実施しました。本会HPの「ひようご介護求人ネット」では、各会員事業所の求人情報入力促進しているところです。そして、県内中学校1年生へ「楽々介護」、県内高校1年生へは「わたしを叶える。」を配布しました。マイナビの配信力を活用して、転職等を考える方々に「介護の魅力」を配信しました。

### ◎ 調査研究委員会

令和4年度は、昨年度に引き続き「感染症対策及びBCPの取組状況について」をテーマに、モデル施設として取組んだ10施設のBCPマニュアル(主に自然災害)を作成しました。作成したマニュアルの全施設向け報告会を7月27日に実施し150施設・300名を超えるたいへん多くの施設の皆様にご参加頂きました。今後のところで、この度の10モデル施設の具体的な取組状況や全施設のBCP作成の予定等についてまとめる予定です。

### ◎ 編集委員会

会員施設の新たな取り組み等の情報をお寄せください。特集記事のテーマも募集します。かけはし114号発行は3月を予定しています。

### ◎ ケアプラン委員会

10月20日と11月11日にケアプラン基礎研修会を開催いたしました。ケアプラン作成におきまして、講義内容やテキストを参考にして頂ければ幸いです。

### ◎ 研修委員会

10月7日アンガーマネジメント研修及び10月27日人生の最終段階における対応向上研修は開催後HPにアップし視聴できるようにしました。1月23日に施設長研修会をハイブリット形式で開催します。2月1日認知症介護基礎研修会を開催予定です。

### ◎ 養護部会

12月2日に「高齢者の生活を支える傾聴について」研修会を開催しました。施設長研修会を計画しておりますので、ご参加をお待ちしております。

### ◎ 軽費・ケアハウス部会

令和5年2月16日軽費・ケアハウス部会施設長研修会を開催します。弁護士法人かなめ代表 畑山浩俊氏をお迎えし、「事例から学ぶ高齢者虐待防止法と成年後見制度」をテーマに講演いただきます。是非ご参加ください。

### ◎ デイ部会

令和5年2月10日(金)13時より職員・管理者研修会の実施予定しています。今回は妹尾弘幸先生に「デイサービス事業の経営対策について」(仮)をテーマにご講演いただきます。

### ◎ 地域サポート施設推進事業

令和5年1月下旬に、県内認定2施設による事例発表会と令和5年度認定施設募集要項説明会を予定しております。

### ◆◆青年部会 会員募集中◆◆

(入会条件)	(目的)
50歳以下の施設長もしくは施設長の推薦する50歳以下の施設職員	老人福祉の増進と老人福祉事業推進のために、老人福祉事業後継者としての研鑽と会員相互の親睦をはかることを目的とする。
<b>正会員</b> 年会費：5,000円	入会お待ちしております! 入会についてのお問い合わせ、並びに申込書送付は下記、 <b>青年部会 事務局</b> まで。
<b>賛助会員</b> 会の趣旨に賛同し、ご支援いただける方 年会費：10,000円	
【青年部会 事務局】 特別養護老人ホームたちばな苑 山岡 TEL(0799)27-0146	

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めて3年が経とうとしています。私たちの生活はだいぶ様変わりしました。ワクチンや治療薬ができ、コロナに対する制限も緩和されつつありますが、高齢者の介護に携わる会員事業所の皆様は、感染防止、感染対策を続けることはできません。このような状況だからこそ、ご利用者様、ご家族様の気持ちに寄り添った温かい介護を目指したいものです。来年も引き続き、会員事業所の皆様とともに事務局も一丸となって、迅速な情報収集や情報提供により、感染防止対策や非常事態に対応できるよう努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

### 県老協加入施設数

R4.11.8現在

	特養	養護	軽費	ケアハウス	デイサービス	計
阪神	68	6	0	21	70	165
東播磨	62	6	1	19	70	158
姫路	42	3	0	8	40	93
西播磨	28	5	0	2	35	70
但馬	25	3	0	6	40	74
丹波	11	4	0	3	12	30
淡路	21	4	0	2	17	44
計	257	31	1	61	284	634

※ 賛助会員 1事業所(内訳:団体)



# 「BCPマニュアル作成モデル施設報告会」

高齢者の皆様が利用される施設においては新型コロナウイルス感染症に限らず、地震や洪水も含む風水害、土砂災害といった自然災害や火災などあらゆる分野における不測の事態も想定して事業の継続を可能にするための事前の備えが必要です。私共、兵庫県老人福祉事業協会に所属する会員施設においては高齢者の安心・安全生活を支える使命が課せられており、万一災害や感染症が発生しても安定した生活を継続して頂くための生活空間や設備などハード面の確保はもちろんですが、同時に必要な介護等のサービスを提供できる人的な体制や対応マニュアルの整備などソフト面の構築が求められています。

厚生労働省では「令和3年度介護報酬改定」ですべての介護事業者に対しサービスを必要とする利用者やサービス実施に当たる職員を守るために研修や訓練を行う「BCP策定」を義務づける方針が示されました。但しご承知のとおり令和6年3月31日までの経過措置が設けられており、まだ猶予期間があるものの、同時に感染症の拡大やその他、自然災害は今日、明日にも起こり得るといふ危機感も持ち合わせており急務の作業であります。

この度、7月27日に当協会の調査研究委員会が主導となりすべての会員施設が「BCP策定」作業の完成までサポートする目的で研修会を開催致しました。

研修会開催にあたり冒頭、伊富貴幸廣会長より兵庫県内の新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、感染症対策強化について兵庫県より通知があったことの報告と今年度の調査研究委員会のテーマとして「感染症並びに防災対策のBCP策定」に重点を置き会員施設の中から希望のあった10施設にモデル施設になって頂き、本日の研修会においてはその中で4施設を選抜して発表に臨んで頂くことになった経過と研修会の主旨について開催あいさつがありました。

当協会においては昨年9月より防災・感染症BCP作成に向けて「びわこ学院大学教授 鳥野猛氏」に研修講師をお引受け頂き、会員施設のBCP策定にアドバイザーとしてご協力頂きました。

この度発表して頂くモデル4施設の選抜にあたっては鳥野先生からの助言もあり、自然災害想定との異なる立地環境や施設の特徴を検討、考慮された結果、推薦され、それぞれの施設・事業所において計画の策定に関わる工程について実際に取組まれた上でのご苦労や困難な事例、また良かった点など全体評価について具体的に

お話を聞かせて頂くことが出来ました。マニュアル作成工程については昨年9月の研修会をスタートとして鳥野先生からのアドバイスを受けながら調査研究委員会とモデル施設において、全体スケジュール管理や作成における次のポイントについて共有し、今回の研修会発表に臨まれました。

作成過程における共通する重要項目として①施設の立地と災害被害想定把握、②推進体制の決定、③4課題の対応(避難の判断基準・職員アンケート実施と分析・居住地マップの作成・職員招集基準と有事のシフト)、④有事の際の優先業務、⑤訓練・研修会計画立案と実施の5点にまとめ、それぞれの項目ごとに「苦労したところ、大変だったところ」を振り返り、他の会員施設にも実体験での参考意見として以下の報告をして頂きました。



びわこ学院大学教授 鳥野 猛氏

## 山編

1

特別養護老人ホームむらおかこぶし園

山根直美 施設長 報告

兵庫県北部に位置し山に囲まれ近くに河川もあり、豪雪地帯としても知られる地域。以前、積雪で電線が切れ3日間停電して役場などからストロブや発電機を借りるなどの苦労もあった。マニュアル作成にあたり運営委員会で取り組み始めたがどう進めたらよいかわからない状況。

施設が平屋で垂直移動が出来ず、所有車輛では車いす3台しか乗車できないため、籠城避難方法に切り替えた。職員アンケートや居住地マップの作成においても地図の大きさや保管等苦労があった。いざ有事の際の連絡手段や招集基準、限られた職員で優先業務にどう取り組むか、今後想定訓練を実施し課題に取り組みたい。



## 山編

2

特別養護老人ホーム野桑の里

大田光一 施設長 報告

施設の裏に山、前に川という山と川の間に位置し、役場のハザードマップにより洪水による水害と土砂災害が想定される。作成過程においては日々の通常業務と重なり中々スケジュール通りに進まない。雨量が災害の原因となる地域であるため避難の判断基準を雨量と決めるも、施設はオール電化にされており停電時、テレビやインターネット使用不可のため情報収集の課題が残り、雨量は目視確認。職員居住地マップ作成も国交省の地図を張り合わせたサイズに苦慮した。職員招集基準は地震、土砂災害、水害、感染症と被災内容ごとの設定を検討し被災時は半分の職員対応と規定。最優先業務は生命を守る基準とし責任の所在を明確にした。



## 海編

4

特別養護老人ホーム いやさか苑

田上優佳 施設長 報告

施設の近隣にグループホームと小規模多機能住宅介護の事業所を運営している。すべての事業所は姫路の南部に位置し、海岸に近い。河川の氾濫と同時に洪水、内水による水害が想定される。法人施設の災害被害想定を判断するため国交省、気象庁、姫路市のハザードマップから100年に一度、1,000年に一度のデータを入手し、被害想定検証に当たった。



## 川編

3

むれさきデイサービス新宮

牛建小麻紀 管理者 報告

揖保川、栗栖川、林田川など大きな河川が近くにあり、また、山崎断層の分布地域でもあり洪水による水害や地震災害が想定される地域である。今回の発表施設の中で唯一、単独デイサービスという通所系サービスであり建物も本屋の跡地を改装した平屋建ての施設。入所系施設と違い、利用者の垂直避難は出来ないため自宅か避難所へ車で送ることになるが、



急激に水かさが増し避難所等まで行くのが危険な場合は、唯一近隣にある老健施設へ協力をお願いすることになる。車両が使えるかどうかの早めの判断が必要である。鳥野先生からは既に市に提出している避難確保計画への肉付けからでも良いとアドバイスを受けた。職員の居住マップにおいては2本の川の間には施設があるため必ず橋を渡って出勤せざるを得ない職員が多いという課題が抽出された。有事の優先対応として利用者のニーズを考えりハビリティ利用より独居高齢者の避難支援と見守りや食事の提供、入浴を優先に決定した。また50名、1週間分想定非常食の備えも鳥野先生から助言があった。

以上の4施設の発表を終え、昨年から本会のBCPマニュアル作成の指導に当たって頂いた鳥野先生から、発表された4施設の皆様のみならず県老協事務局担当者の方々へもプレッシャーをかけ、ここまで努力されたことへの評価の言葉がありました。

災害はいつ来るかわからない。万一、自然災害や感染症災害が発生しても現時点で準備努力しているかどうかが重要であり、最終令和6年4月に完成していれば良いとのコメントを下さいました。モデル施設の方々の報告から日常業務の中で期限を設けた作成スケジュールを意識され、皆さん共通した悩みや課題を抱えながら、一つひとつクリアし、現在に到達されたご苦労と達成感が伺えました。

今回の研修を通して会員の皆様においては①まだ取組めていない、②取組みの途中、③完成したと状況は異なると思いますが、完成しても状況変化に応じ変更していく必要があることを学びました。

最後に、この度は自然災害想定を中心としたBCP策定のシミュレーションでしたが、今後、感染症等にも視野を広げ、4施設の報告を参考に、全会員施設がマニュアルを完成する道筋が出来たのではないかと感じました。



職員研修会

10月7日(金)開催  
WEB研修

怒りで後悔しないために、はじめてのアンガーマネジメント」と題して神戸心理療法センター代表で臨床心理士の高井祐子氏による講演があった。

怒りとは人間にとって自然な防衛感情であり、なくすことは不可能である。一方で身近な対象程強くなり、伝染しやすい、高い所から低い所へ流れるという難点があり、連鎖を断ち切る必要がある。まずは自分が何を大切に感じ、何に怒るのかわかることから始まる。怒りのタイプは6種類、例えば私は熱血柴犬タイプ。公明正大、目標に突き進むタイプであるが、自分の力以上の仕事をしよいかむ欠点があるらしい。他には白黒パンダ、俺様ライオン、頑固ヒツジ、慎重ウサギ、自由ネコがあり、アンガーマネジメント協会のHPで簡単に診断できるので、是非お試し頂きたい。

対処方法として、イラっときても6秒間やり過ぎ(怒りの感情のピークは6秒)。そして、怒りを相対評価し、ポジティブな言葉で自分を励ます。異なる

考え方を持つ人を認め、相手を尊重しつつ、上手に主張する。さらに、ギャップや思い込みからくる、プラスにならない怒りは捨てる。違う角度や視点から考え、焦らずに自分を改善し、怒りをコントロールすること

で仕事の効率が上がり、職場や私生活における人間関係の改善、心身の健康増進、ハラスメント防止につながり、人にも自分にも優しくなれることを学んだ、有意義な時間であった。



高井 祐子氏

怒りで後悔しないために  
～はじめてのアンガーマネジメント～  
神戸心理療法センター  
高井祐子

編集委員 浅井 愛子

介護職員等の人生の最終段階における対応向上研修

10月27日(木)開催 WEB研修

今回、社会福祉法人万亀会 地域密着型特別養護老人ホーム千鶴園 副施設長 三木昌代氏を招いて、「看取りは介護の仕事1」大丈夫！誰でも看取りはできる」、「看取りは介護の仕事2」介護施設でこんなに素敵な看取りができる」の2部に分けて講演が開催された。

人がこの世に生まれて、人の手を借りて大きくなったように、人がこの世を去る時にも、何かしら人の手を借りて、老い、亡くなっていくのが普通。その人の手：昔は家族であった。「老い」や「死」が身近にあり、生活の中で自然と学んでいく環境下であった。

しかし、少子高齢化、核家族化の進行、単独世帯の増加等の社会構造の変化により、生活の中から「老い」や「死」が追いやられてしまった。その結果「死」というと、縁起でもない、辛い、寂しい、苦しい、怖いなどとマイナスなイメージを持ってしまっている、忌み嫌うようになってしまいう現状であり、日本ほど「死」の教育がない国はないと言われている。

現在は超高齢社会かつ多死社会であり、最期を迎える場所として病院や自宅だけではなく、今後は介護施設などでもその役割が求められている。

施設での看取りを行う上で、人間誰しもがいつれ死を迎える、死は普通で自然



三木 昌代氏

「看取り介護」を「結いけあ」と呼んでいます  
～万亀会オリジナル～  
「結いけあ」  
気持ちや思いをつないでいくことを「結いけあ」と言います。  
又、仲間の言葉「結いけあ」からきている「結い」には「助け合う」「共同作業」「一緒に頑張ろう」といった意味があります。  
高齢者の人生の最後は上げ（輝く）を、みんなで協力し合い、完成させていく、という意味。  
「見守」その時まで、生きることを支援します・・・という取り組み

なことであるという死生観を持つておくこと、看取りを行う上で特別なことは何もなく、毎日のケアの延長線上に看取りがあり、施設職員全体で支えていくこと、時には家族にも協力してもらおうこと等が重要であると話されていた。

今回の講演を通じて、死をタブー視するのではなく、普段から入居者や家族にも最期をどう迎えたいか入居時から意向を確認しておくこと。また、看取り介護というと医療の専門職として看護職員が率先しないといけなく、介護職員は二の次であるという考えになりがちであるが、そうではなく施設全体で支えていくこと。そうすることで、入居者がその人らしく、その人らしい最期を迎えられる支援に繋がるということを改めて実感した。

編集委員 湯本 健作

令和4年度 介護の日イベント

11月15日(火)開催

場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

「日本とチベット 異文化を超えて」高齢者福祉を考える」と題し、チベット人歌手のバイマヤンジン氏の講演でした。

ヤンジン氏は、1994年来日後、日本でただ一人のチベット人歌手として、チベットの音楽や文化を紹介するため、全国各地で講演会やコンサートを精力的に行い、「徹子の部屋」等テレビにも多数出演されています。

今、ヤンジン氏は幸福度100%だとおっしゃいます。チベットの田舎の決して裕福とはいえない村で、家族で支え合って生きてきて、親兄弟が必死に働いてくれたおかげで、学校に行かせてもらいましたが、大学ではたくさん苦労やくやしい思いをされました。卒業後、日本人のご主人と出会い、来日。日本の生活はチベットとは別世界でした。

「いろんなご縁で、チベットでは経験できないことをさせていたただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。そんな中、同居していた日本の祖母が94歳の天寿を全うしました。家族でお世話をするのがあたりまえだと思っていました。が、デイサービス



バイマヤンジン氏

を利用することで、祖母本人も喜び、私たち家族も助かりました。老人福祉施設は家族をも助けてくださるところでした。チベットの平均寿命はそんなに長くないので、今も健在で長寿のチベットの母は、村の人たちからも宝物として大事にしていると思います。今の豊かで幸せな日本を作っていたいただいた高齢者の皆様にも感謝し、大事にしていくべきではないでしょうか」と、愛情のこもった語り口でお話しいただきました。

最後にはチベット民謡を披露いただき、力強い歌声に圧倒されました。

令和4年度 人生の最終段階に向けての 県民フォーラム

11月15日(火)開催

場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

「落語で笑って学ぶ！笑ンディングノート」と題して、行政書士で社会人落語家の生島清身氏による講演でした。

生島氏はNHK朝ドラの影響で本格的に上方落語を勉強され、高座名「天神亨きよ美」を授けられました。その後、行政書士試験に合格し、行政書士事務所を開業。幅広く活動されています。不妊治療を通して生命誕生の神秘に気づき、相続業務を通して本当に大事なものは何か？を考え、遺言をテーマに家族や人生について考える落語「天国からの手紙」を創作されました。テーマの通り、想いを遺すことの大切さ、悔いなく自分らしく生きることについて、落語という形で分かりやすく伝えてくださいました。落語の後は、行政書士として、遺言や笑ンディングノートについて詳しくご説明いただき、「とかく暗くなりがちなたまですが、「笑ンディングノート」の「エ」を「笑」という漢字にするだけで「笑ンディングノート」で明る



生島 清身氏

くよりよい人生を考えられるようになるばあ」とおっしゃいました。笑ンディングノートは、難しいルールはないので気軽に書いてよい、自分を見つめ直すきっかけになればよいとのこと。一般的な内容は①自分自身について②医療や介護について③葬儀やお墓について④財産相続について⑤大切な人へのメッセージ、の5つである。人生観を確認しあうコミュニケーションツールとして活用できると笑いを交えながら学ぶことができました。



「介護の状態が中重度の方向けのデイサービスセンターなごやか」と、「リハビリを目的としたリハビリデイなごみ庵」の二つのデイサービスがあります。今回は、そのうちのデイサービスなごやかをご紹介します。

当デイサービスのモットーは、「自立支援」と「個性を大切に」です。自立支援においては、個別機能訓練に力を入れています。機能訓練士として、作業療法士と専属の看護師が担当させて頂き、より専門的な機能訓練を提供させて頂きます。「自立支援」という点でも、ご利用者様が、一日でも長く地域や自宅で過ごすために、自宅の住環境の確認をし、住環境に即した必要な機能訓練や入浴、車の乗降り等の目的に応じた機能

## デイサービスセンター なごやか

地域密着型通所介護／東播磨ブロック



### 社会福祉法人 真秀会 デイサービスセンターなごやか

施設長名 澤中 幸子 定員数 18名  
住所 〒675-2105 兵庫県加西市下宮木町576番地  
TEL 0790-49-0080 FAX 0790-49-0528  
magoyaka@are.eonet.ne.jp  
併設事業 認知症対応型共同生活介護



訓練を実施しています。もちろんデイサービスとしての楽しめるレクも実施しながら、個々の嗜好も大切にしたいと考えています。定員 18人という少人数制であることから、個別的に関わりやすい体制も重要視しています。

養護老人ホーム 佐用朝霧園は、令和2年9月に佐用町によって同町林崎地区に敷地面積4998.28㎡、RC造二階建て、居室50室(個室)、定員50人の養護施設として移転新築されました。令和3年4月からは佐用町社会福祉協議会が指定管理者となり運営しています。

特養との併設や特定施設への移行が多い中、当園では養護老人ホームの形態を維持しています。医師、看護職員数などの制約により十分な医療体制は望めませんが、入所者には健康で文化的な自立した園生活を送ることを目標に、健康体操、お茶会、書道教室等プログラムを充実させ、園外でもバス旅行、買物、花見、節氣行事等開催し、潤いのある暮らしをサポートしたいと考えています。

## 養護老人ホーム 佐用朝霧園

養護老人ホーム／西播磨ブロック



### 社会福祉法人 佐用町社会福祉協議会 養護老人ホーム 佐用朝霧園

施設長名 東口 和弘 定員数 50名  
住所 〒679-5212 兵庫県佐用郡佐用町林崎662番地8  
TEL 0790-78-8050 FAX 0790-78-8051  
s-asagiri@sayo.wel.or.jp



コロナ禍の現況では、地域住民との交流やイベント開催等は困難な状況ですが、今後は徐々に活動を再開し、地域福祉の一翼を担う拠点施設として、その責任を果たしていきます。

尼崎の北東部、郊外にあり西武庫公園に隣接する特別養護老人ホーム博寿苑は、入所60床、ショートステイ10床の施設です。公園の四季折々の自然、訪れる子供達の笑い声、遠くに聳える六甲の山並み、ゆったりとした時の流れと共に日々を過ごしていただけます。

施設の隣には同法人で運営する保育園があり、園児から高齢者まで、世代を超えた絆が育まれております。施設に入所いただいた皆様、そのご家族様、施設で働く職員同士、地域の皆様、それぞれの「絆」を法人理念として大切にしながら、施設を運営しております。

この数年、大切な絆を育む為の交流がコロナの為になかなか出

## 特別養護老人ホーム 博寿苑

介護老人福祉施設／阪神ブロック



### 社会福祉法人 真澄会 特別養護老人ホーム 博寿苑

施設長名 高松 竜平 定員数 60名  
住所 〒661-0043 尼崎市武庫元町2-23-15  
TEL 06-6438-3911 FAX 06-6438-3922  
somu@hakujiyuen.or.jp  
併設事業 短期入所生活介護、通所介護、地域包括支援センター、居宅介護支援



来ない状況となっております。ですが、何よりも施設をご利用いただく皆様の「安全」を守る事を念頭に、また施設を利用される皆様に幾多の「喜び」が提供できますように、職員一同日々の業務に努めて参ります。

特別養護老人ホームむらおかこぶし園は、ユニット型施設として平成18年に開設しました。緑豊かな山々に囲まれ、近隣には幾つかのスキー場があります。入居者のこれまでの暮らしを大切に、その人らしい生活の支援と居場所づくりに努めています。

また、入居者・職員双方に負担の少ない介護技術・福祉用具の導入に力を入れ、安心・安全の関わりを取り組んでいるところです。

一方、当施設は地域サポート施設として、「出張介護予防教室」や「認知症カフェ」を開催しています。その際、職員有志で立ち上げた「踊り同好会鼓舞志」が、傘踊りや銭太鼓等を披露することもあります。コロナ禍で行事や集いが縮小されるなか、入居者や地域の方々に楽しく元氣の出るひとと

## 特別養護老人ホーム むらおかこぶし園

介護老人福祉施設／但馬ブロック



### 社会福祉法人みかたこぶしの里 特別養護老人ホームむらおかこぶし園

施設長名 山根 直美 定員数 50名  
住所 〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2205  
TEL 0796-94-0051 FAX 0796-94-0053  
muraokakobushien@nike.eonet.ne.jp  
併設事業 短期入所生活介護



きを過ごしていただきたいと練習に励んでいます。

誰にとっても施設職員が頼れる存在であるよう、専門性を活かして皆で協力しあって取り組んでいきたいと思っています。